柑橘類（グレープフルーツなど）と医薬品の相互作用について

グレープフルーツなど、多くの柑橘類に含まれる、フラノクマリン類が、消化管における薬物代謝酵素の働きを不可逆的に阻害することにより、薬物の血中濃度が上昇し、副作用が出やすくなると言われています。

一般的に、代謝酵素の阻害作用は、2～3日持続すると言われていますので、薬物と同時に摂取しなければ良いというわけではありません。

**◇柑橘類と薬物相互作用について　赤字：相互作用あり　青字：相互作用なし　黒字：不明**

|  |  |
| --- | --- |
| **区** | **品　　種** |
| **ライム区** | **ライム・ベルガモット** |
| **シトロン区** | **レモン** |
| **ザボン区** | **ブンタン・グレープフルーツ・絹皮・スウィーティー(オロブランコ)****メローゴールド・八朔・・(・宇和ゴールドなど)** |
| **ダイダイ区** | **夏ミカン・ダイダイ・サワーオレンジ・日向夏・伊予柑・トロビタオレンジ****バレンシアオレンジ** |
| **ユズ区** | **ユズ・スダチ・カボス** |
| **ミカン区** | **温州ミカン・ポンカン・地中海マンダリン・シークァーサー** |
| **雑種** | **清見(温州ミカン×トロビタオレンジ)・デコポン(清見×ポンカン)** |
| **その他** | **金柑** |

※含有量については、収穫時期などによりバラツキがあるため記載しておりません。

※ザボン区、ダイダイ区に属する柑橘類は、他の区に属する柑橘類よりも注意が必要です。

**◇相互作用の報告がある医薬品（一例）**

|  |  |
| --- | --- |
| **抗てんかん薬** | **テグレトール**（カルバマゼピン） |
| **抗がん剤** | **イレッサ**（ゲフィチニブ）**・グリベック**（イマチニブ）**トポテシン**（イリノテカン） |
| **免疫抑制剤** | **ネオーラル**（シクロスポリン）**・プログラフ**（タクロリムス） |
| **Ca拮抗剤** | **アダラート**（ニフェジピン）**・カルブロック**（アゼルニジピン）**バイミカード**（ニソルジピン）**・アテレック**（シルニジピン）**ペルジピン**（ニカルジピン）**・ワソラン**（ベラパミル） |

フラノクマリン類は、果汁だけでなく、果皮や果肉にも含まれていますので、柑橘類のジュースだけでなく、果実そのものを摂取したり、果肉や果皮を用いたゼリーやジャム、菓子類などを摂取したりする場合でも注意が必要と言われています。

****また、薬物相互作用には個人差があるため、上記のような医薬品を使用する場合は、グレープフルーツなど、フラノクマリン類を含む柑橘類の大量摂取を控えることが望ましいと言われています。

柑橘類は種類も多く、相互作用が報告されている医薬品も多いですので、不明点等がございましたら薬剤科までご連絡下さい。